

山行報告書

作成:2007年 2月27日
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	大山(鳥取県)	目的[方法]	山陰雪山山行
期間	2007年2月25日(日)	形態	前夜泊日帰り
参加人数		1人	

行動記録:

◇2/24(土) 晴れ、微風、

自宅 10:30 == 溝口 IC 17:20 == 大山寺登山口駐車場 15:50 TS1

登山口駐車場 TS1 晴れ・微風 70:00 —— 6合目非難小屋 8:40/8:50 —— 頂上 10:40 ——

頂上避難小屋 10:50/11:20 —— 12:50 登山口駐車場 == 溝口 IC == 岡崎



概念図:

日誌:

24日 晴れ微風 —— 天気予報良好 —— 久しぶりの単独山行になりました。大山周辺道路積雪なし。

25日 晴れ微風 駐車場積雪なし、当日約20台駐車あり、周辺20~30cmの積雪。

大山寺尾根道、夏山登山道を行く。登山口周辺から前夜の冷え込みにより雪質は、程よくしまったものでした。

6合目からやや急な登りに、樹氷が美しく、シャッター休憩が時々続きました。(単独登山の最大の魅力)

頂上付近晴れ、微風、日本海がやや霞んだ向こうに美しい。ここから360度の大展望を楽しみました。

きょうは、剣ヶ峰への縦走に向かうパーティーも数組ありました。頂上非難小屋南側は、軒下までの積雪、北側入り口付近は、玄関入り口から入室でき、20人位の登山者とともに昼食としました。

下山は、積雪のうえ夏登山より快適なものでした。

感想:

単独山行と言うこと、慎重の上にも慎重な事前調査を必要とした。

天気情報・積雪情報・周辺地形状況・入念な調査の後、現地に於いて、前夜・当日状況を見極め、山行の決行を決めた。

美しい雪山、大山の積雪期は、あこがれの名峰でした。